

がん分科会の運営方法の見直しについて

がん分科会の組織構成や運営について、令和 7 年度からの適用に向けた検討を行う。

1 目的

関係者及び関係機関から幅広く多様な意見を得ることにより、がん検診受診率の一層の向上を目指す。

2 課題等

- (1) 他のがん種と比較した議論や広範ながん情報の共有等、協議に広がりを持たせた多様な意見の反映を図る必要がある。
- (2) がん検診の実施主体である市町村が参画していないため、有意義な意見・提言を受けるために必要な数値の背景や検診の実情が、直接委員に伝わらない。
- (3) がん検診受診率向上の有効な方策の一つとして、がん検診と特定健診との同時実施が考えられることから、特定健診を実施する保険者等で構成する県保険者協議会の参画が望ましい。

3 見直し内容

(1) がん分科会の統合

幅広い意見の聴取結果を施策に反映することによる、県民受益の最大化。

(2) 市町村の参画

がん検診の実施主体である市町村の参画による、現場の状況や取組内容の反映。

(3) 保険者の参画

特定健診を実施する保険者の意見反映による、がん検診受診率向上の検討。